



# ガハテ村通信

篠山ナマステ会 兵庫県篠山市住山420 TEL (079) 595-1365 振替口座 00930-6-29629

## 09年にガハテからPHD研修生



### 「学校でき夢持てるように」 3氏招きシンポジウム開催

シンポジウム「ナマステネパール  
〜共に歩むネパールとの交流〜」と  
題して二月十六日、第九回目となる  
ネパール市民講座を篠山市立中央図  
書館で開きました。当会ともゆかり  
の深い、PHD運動提唱者 故・岩村  
昇博士夫人の史子さん、医療分野で  
支援を続ける紀洋会理事長の岡本信  
洋さん、PHD協会総主事代行の藤  
野達也さんの三氏を招き、それぞれ  
ネパールへの思い、支援や交流につ  
いての考えを聞きました。三氏の実  
践、経験に基づいた提言は、これか  
らの当会の活動のあり方への貴重な  
指針となることと思います。



# 新たな活動の指針聞く

今回のネパール市民講座は、ハネルティスカツシオン方式で、三氏から意見をうかがいました。コーディネーターは当会の向井祥隆さんです。以下に要約を紹介します。

向井 それぞれの、ネパールとの関わりや思いをお聞かせください。

## ネパールは第二の心臓



岩村 史子さん

岩村 一九六二年から十八年間生活し、ネパールは私の第二のふるさと。主人は結核患者を診ていま

したが、病院に来る人は少ない。それならこちらから村へ行こう、とコミュニティ・ヘルス活動が始まりました。活動を引き継いでいる人が、「岩村博士が道をつけてくれたので助かっている」と言ってくれましたが、「みんな『岩村はうちに来てメシをいっぱい食べた』と言っていきます」とも聞きました(笑)。でもそれが、主人なりのコミュニケーションのとおり方だったんだと思います。きつと篠山でもいっぱい食べていたんじゃないかしら。

## 日本人にこそ「PHD」を

藤野 ネパールをはじめ多くの研修生を招いてきた中で、日本について見えてきたことがあります。農業研修生から「日本の食料



藤野 達也さん

自給率は低く、農業をやっているのは年寄りばかりじゃないか」など、ズバツと指摘されるんです。確かに日本は豊かだが多くの問題を抱え、世界に目をやると、日本が取り過ぎて他国が足りなくなっている面もある。日本人自身が、自分の問題を真剣に考えないといけない。そう考えると、岩村先生の言われた「平和・健康・人づくり」は、今の日本人にこそ受け入れられるべきメッセージだと思います。

## 日本の研修が将来に役立つ



岡本 信洋さん

岡本 偶然ネパールに岩村記念病院ができた知り、医療用ベッドを送ったことがきっかけで、日本の大学院で透析を学びたいというネパール人医師を受け入れることになりました。それからどっ

ぷりネパールに浸かってしまい、彼のほか五人の医師と一人のナースを研修に受け入れてきました。確かにお金はかかりますが、医師やナースになってすぐの彼らに最先端の医療機関を見せることは、強烈な印象になる。それは彼らが将来、自分がどんな病院を創っていくか考えるとき役に立つはずですよ。

## 次のステップへ進むために

向井 日本の子供はそれぞれ夢を持ち、

実現すべく努力するわけですが、セティディビ小学校の子供たちが次のステップに行くにはどうすればいいでしょう。

藤野 これまで村しか知らず、夢を持つことのなかった人が、学校ができたことで新たな世界を知ることができました。子供だけでなく大人、特に女性が自分の可能性に気づき始めたことは、非常に大きなことです。

岩村 私もガハテ村へ行き、小さな子供が生き生きしているのを見て、人づくりの基礎ができた実感しました。

岡本 教育が行き渡ること農村が荒廃した日本の轍を踏まないか、と心配する声がありますが、それは日本のやり方が間違っていたと考えるべき。彼らがこちらの考えどおり、「こうしたらこうなる」などは絶対に考えるべきではない。彼らは彼らの選ぶ道を行けばいいのではないのでしょうか。

岩村 教育を受けた若者が村を出て、戻ってこなくなる。これは日本的な考えなら困ったことかもしれませんが、努力して村から出て行く若者の姿は、村の人たちにとっては励みや誇り、目標になります。

藤野 PHD研修生は日本語や技術を学んでいるわけで、村から出るきっかけを与えているとも言えるが、過去そういう人は少ない。二〇〇九年度には篠山ナマステ会和同で、ガハテ村から研修生を呼ぼうと計画しています。日本も問題を抱えているが、それに取り組んでいる人もいることを提示し、一緒にじっくり考えていけば、必ずしも心配するようなことにはならないのではないのでしょうか。そこに明るい光を見たい、と思います。

ネパールへのご旅行 ご視察は JTB特定パートナー店

株式会社みずぼトラベルへ

〒669-2202 兵庫県篠山市東吹507-1 TEL 079(590)1910 FAX 079(590)1911

和洋庭園設計施工・工場緑化・土木工事一式 篠山市上下水道排水設備指定工事店

石井造園緑化株式会社

兵庫県篠山市東吹709 TEL(079) 594-0227 FAX(079) 594-2537



パネル展示で来場者に活動を紹介

### 「こっこつ賞」を受賞

篠山ナマステ会は、「ひょうごボランティアスクエア21」に応募し、一月二十七日に神戸市東灘区の「こっぺこうべ」でパネル展示とステージ発表を行いました。その結果、地域と密着した継続的な取り組みが評価され、「こっこつ賞」を受賞しました。副賞の五万円は一般会計の協賛金に繰り入れ、ガハテ村とセティディビ小学校の支援のために役立たせていただきます。

「ひょうごボランティアスクエア21」は、兵庫県社会福祉協議会などが組織して毎年県内で活躍するボランティア団体などを表彰しているものです。今年も二十七団体が応募し、書類審査を通過した七団体が発表を行いました。

### ネパールとつながった



「現地に行ってみよう」

### 手紙の返事に大喜び

大山小 1カ月前小学校に送る

大山小学校の五年生十三人が、セティディビ小学校へ手紙を送ってくれました。ネパールの通信事情のこと、普通なら返事が届くはずと先だと思われたのですが、セティディビ小学校からわずか一ヶ月で返事が届き、大喜びしています。

### 友情は遙か海を越えて

大山小5年生の皆さん

大山小学校の五年生十三人が、セティディビ小学校へ手紙を送ってくれました。ネパールの通信事情のこと、普通なら返事が届くはずと先だと思われたのですが、セティディビ小学校からわずか一ヶ月で返事が届き、大喜びしています。

セティディビ、大山の両小学校の交流は、丹波新聞にも紹介されました。

交流のきっかけは、このクラスの渡辺杉菜さんが昨年、篠山ナマステ会のスタディツアーに参加したことでした。渡辺さんからガハテ村での交流などネパールでの体験を聞いたことから、文化や生活などについて学習を進めてきました。

そして、国や文化が違って友達になれることを学んだことから、セティディビ小学校の子供たちに手紙を書くことに。自分たちの学校の様子やクラスの活動を紹介した写真も添えました。また、村の暮らしが貧しいこと

を知り、全校で取り組んでいるアルミ缶回収の収益金の一部を、学校支援に役立ててください、と寄付してくれました。手紙と寄付金は、ネパールに里帰りする当会の増岡ジョーバナさんに預けられ、SSSを通じてセティディビ小学校へ送られました。

返事は、セティディビ小学校の五人から届きました。英語で書かれた手紙には、「家族が八人います」「フットボールが好きです」などと自分たちの紹介が書かれ、木や花の絵も添えられていました。

これからも、ネパールと日本の子供たちの交流が深まり、広がっていくことを期待したいですね。

### 「サツマイモで未来拓く」

やぎの会 是松 弘道氏



岡山県の「やぎの会」代表、是松弘道さん。写真を講師に招き、昨年十月に幹事研修会を開きました。是松さんは、カトマンズから約二百キロ離れたドムン村で、サツマイモの栽培を指導。食の改善や、加工品販売やイモツルによる家畜飼育での現金収入の道を拓いてくれました。今後は家畜の糞尿によるバイオガスの利用拡大を計画されており、その精力的な活動に、幹事たちも大いに刺激されました。また、そのノウハウを当会やガハテ村にも教えてほしい、とお願ひしたところ、快くお受け下さいました。

成人式の振袖レンタル、着付予約承ります

### (有) タバタ美容室

篠山市河原町2-1 TEL 552-2290

### サンセブン美容室

篠山市日置37 TEL 556-3707

笑顔のくらしは水まわりの改善から

篠山市：指定給水装置工事事業者 下水道排水設備指定工事店

### サン設備工業株式会社

営業所 〒669-2526 篠山市向井字西下河原647  
TEL (079) 557-0400 FAX (079) 557-0401

# ガハテ村からの報告

通信員のビジュヌマニ・ネパール氏からEメールが届きました。セティディビ小学校やネパール情勢についての報告を紹介します。

## 大山小学校に感謝

大山小学校からの手紙や写真、寄付金は、ショーパーナさんを通して受け取りました。みんな喜び感謝しています。お金はセティディビ小職員と学校運営委員会に手渡しました。当初このお金は図書室の充実に使おうと考えていました。しかし、SSSが図書室への資金と物品を工面することができたため、その後計画を変更し、地域の生活協同組合に預けることになりました。郡教育委員会からの多少の資金と合わせ、全額を定期預金口座に預けました。この預金利息を奨学金として児童に支給することになります。

## SSSが総会開催

SSSは二月九日にクンタ村の事務所で開催を開き、今後の活動スケジュールや計画を決め、篠山ナマステ会と日本人に対し感謝を表明し、また篠山ナマステ会との関係をこれから先もずっと継続していくことを確認しました。

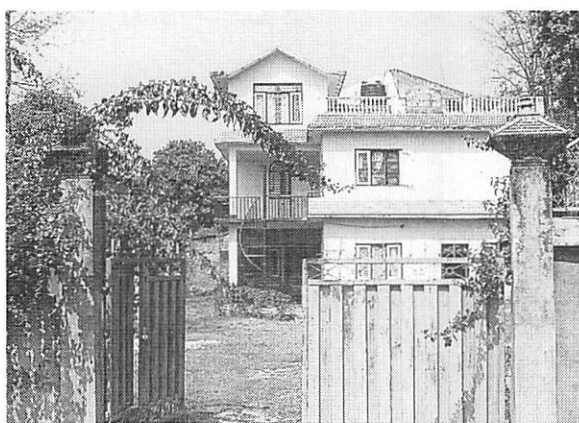
職員給与、カトマンズ事務所賃貸料、Eメールや電話料金など諸経費が、契約時から六〇%以上増加しており、インフレに歯止めがかかりません。日に日に、経済的な問題に直面しています。また、セティディビ小学

校には現在、常勤教員一名、政府補助女性教員二名、篠山ナマステ会支援教員一名と、保安要員一名がいます。政府が次年度にもう一名の補助教員配置を約束していますが、教員一名と保安要員一名の確保の目的はたっています。各方面にあたって支援金を集めようとしています。どの団体からも前向きな回答は得られていません。

## 乾季も飲料水を確保

前年まで、ガハテ村民は乾季の間の飲み水に関し、多くの問題を抱えていました。しかしこの度の水道施設の完成で、十分な飲み水を手に入れられるようになり、みんな感謝しています。

何人かの村民は、野菜の栽培を始め、牛や水牛のミルク販売も行つようになりました。



クンタ村のSSS事務所。スタディツアーでは3階の宿泊室をお借りする予定です。

## 政治情勢は安定化へ

他の村民も出稼ぎをせず収入が得られるようこの取り組みが広がることを願っています。

政治情勢は徐々によくなっています。四月十日の制憲議会選挙に向け、政治家たちは国のあちこちに出向いて自分たちの将来計画について語り、村人たちも積極的に参加して準備が進められています。

タライ地方では地域武装グループが台頭し、緊張が続いていました。ストライキがあつて夜間外出禁止令も発令され、カトマンズをはじめとした他の地域にも影響を及ぼしていましたが、三月はじめに解決しました。

## 7月にスタディツアー実施。参加者募る!

PHD協会との共催で今夏、ネパール・スタディツアーを実施します。2009年度にはガハテ村からPHD研修生を招こうと考えており、その人選も兼ねたツアーになります。

- 1. 日程 7月21日から31日まで
- 2. 内容
  - ・セティディビ小学校視察
  - ・ガハテ村民との意見交換
  - ・クンタ村のSSS事務所宿泊
  - ・ポカラの女性グループとの交流
  - ・カトマンズ観光 ほか
- 3. 費用 20万円程度を予定

参加希望者は事務局までお問い合わせください。

高い技術力があるからこそ、美しいものが仕上がります。そして、幅広くお客様のニーズにお応えします。

## 森本誠文舎印刷所

〒669-2211 兵庫県篠山市大沢新115  
TEL. (079) 594-1151  
FAX. (079) 594-2607  
E-mail: msiprint@apricot.ocn.ne.jp



## Techno Work

株式会社 テクノワーク

〒669-2224 兵庫県篠山市味間北 864  
TEL (079) 594-2625 FAX (079) 594-2725  
URL: http://www.technowaork.jp/